令和元年度

小規模多機能型居宅介護　サービス評価

小規模多機能ホーム　よいやんせ

◆自己評価
事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・(事-①～⑨)

◆外部評価
外部評価（地域かかわりシート②）・・・・(地②-1～6)

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和２年６月 26 日
１．初期支援（はじめのかかわり）	ﾒﾝﾊﾞｰ	小川卓也・小川やよい・森島・中村・上西・中馬 池上・山口・軸屋・大木・横原・松木・落合 服部

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	１人	１０人	４人	２人	１７人

前回の改善計画
「初期支援の情報収集シート」を夕方のふり返りの時間に記入するようにし、職員間で情報を共有し、円滑な初期支援ができるようにしたい

前回の改善計画に対する取組み結果
情報収集シートへの記入は、なかなかできていなかった。加えて、コロナ感染予防の影響などで全体ミーティングなど皆で集まることができず、情報共有や共通認識ができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	２	１３	５		２０
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	３	１２	５		２０
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	３	１２	５		２０
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	２	１１	６		２０

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・利用開始前に必ず事前情報に目を通し、情報収集をしている。
・本人が、まだ慣れていない時期での声掛け、気遣い
・声掛けを行い不安な事を都度解決し、本人のニーズを把握するように心掛けた。
・特に意識し、細目に声掛けや見守りを行っている。
・コミュニケーションと笑顔

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・情報収集シートの記入
・前もっての情報収集をせず、直前に読んでいる。
・ミーティングや情報収集シートのみにとどまり、それ以上の情報収集ができていない。
・ご家族との会話　　・本人の情報やニーズが把握しきれていない。
・コミュニケーション能力が足りず、新しい情報を引き出せない。
・時間に余裕がない・取り組みがあまい・業務に慣れるのがやっとで、個々の情報収集が不完全であった。

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）

利用開始１ヶ月は、その日に関わったスタッフは全員、ケア記録に会話の内容や、情報収集した内容を、必ず記録し、他のスタッフも記録に目を通し、共通認識、理解する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和２年６月 26 日
２．「～したい」の実現（自己実現の尊重）	ﾒﾝﾊﾞｰ	小川卓也・小川やよい・森島・中村・上西・中馬 池上・山口・軸屋・大木・横原・松木・落合 服部

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	８人	４人	４人	１６人

前回の改善計画
時間や手間をかけるのではなく、毎日の生活の中で日々の会話や表情の観察を大切にして利用者が思っている些細な「～したい」を積み上げていくことで、職員が負担に感じることなく取り組めるようにする
前回の改善計画に対する取組み結果
コロナウイルス感染予防のために、面会や行動が制限され、日々の活動にもかなり支障をきたしていた状況であったが、限られた状況の中でも、施設内の環境を生かした関りで「～したい」の実現に向けて努力していた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？		１０	7	3	２０
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	2	9	5	3	１９
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？		9	7	4	２０
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？		5	7	8	２０

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・目標(ゴール)や当面の目標の把握
・本人の気持ちを受け取り、誕生日を祝うことができている
・本人の気持ちを引き出せるよう意識して関わっている。　・目標を意識したかかわり

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・「～したい」を目指した日々のかかわり　・関係性を築き関わること
・本人の「～したい」が聞き出せていない　・家族の希望で本人のしたいことができない
・目標の全てを把握できていない　・意思表示のできない方とのかかわり　・一人での対応が不安
・目標を把握してはいるが、意識して関われていない。・関わり不足
・スタッフの対応にバラつきがあり、統一できていないことがある。
・思いはあるが、思い通りにいかない。

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）

利用者個々の今の「楽しみ」を引き出すことを重点に置いた関りの月間を設け、引き出された「楽しみ」をケアプランに活かし、今の厳しい状況の中でも、「～したい」を実現できるよう工夫していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和２年６月 26 日
３．日常生活の支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	小川卓也・小川やよい・森島・中村・上西・中馬 池上・山口・軸屋・大木・横原・松木・落合 服部

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	１人	５人	９人	１人	１６人

前回の改善計画
日常生活の支援において、利用者の以前の暮らしを知ることがどんな意味があるのか、知らない時と知ってからの支援にどう変化が出るのかを知るために、家族の協力をもらい以前の暮らしを詳しく聞く場を作る。以前の暮らしを知ることで、利用者を身近に感じケアの楽しみを見出せるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
研修の際に、ご家族の協力をいただき、これまで生活を話していただく機会を計画していたが、コロナウイルス感染の影響で、研修会を開くことができなくなり、実現できなかった。加えて、面会制限もあり家族との交流は皆無に近い状況になった。本人からの情報収集では、十分でないことも多かった。かかわりの中での変化は、都度、共有できるようには工夫していた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか？		５	１３	２	２０
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	４	１５	１		２０
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		９	１０	１	２０
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	３	１５	２		２０
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	３	１３	４		２０

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・状況に応じた、基礎的なケアの提供。　・本人の気持ちや体調の変化への即時的な支援 ・変化があればその都度、他職員と情報を共有している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・チームとして動けていない ・以前の生活の把握	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
日常生活の支援の基本は、利用者本人の意思や思いを尊重していきたい。スタッフ間で価値観の相違があって、チームでの関りが難しい現状があるようだが、利用者本位のスタンスでその時々にベストな方法を、スタッフ間で協議・協力して支援していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和２年６月 26 日
４．地域での暮らしの支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	小川卓也・小川やよい・森島・中村・上西・中馬 池上・山口・軸屋・大木・横原・松木・落合 服部

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	１０人	４人	２人	１６人

前回の改善計画
職員全員が利用者全員の自宅、自宅周辺の様子を把握し、送迎や訪問の機会に近所や地域の方と交流を持つことで、利用者の地域での暮らしが持続できる一助になるようにする

前回の改善計画に対する取組み結果
利用者の自宅を把握することはできたが、近所や地域の方との交流はなかなかできていない。訪問や送迎の際に近所や地域の方と会うことがなかったが、訪問支援の数が少ないことも原因の一つと考えられる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		7	１２	1	２０
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	1	8	8	3	２０
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		１０	7	3	２０
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		2	１０	8	２０

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・会話の中で、自宅での過ごし方等聞き出せるようにしている。 ・送迎時などに家族に必要な情報を伝えている	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域や近所の方との交流　　・地域資源の把握 ・機会がなかった	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・利用者が、自宅で過ごす時間をもっと増やせるようにし、訪問の機会を持ち、本人、スタッフともに地域の方との交流が持てるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和２年８月 21 日
５．多機能性ある柔軟な支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	小川卓也・小川やよい・中村・上西・池上・濱田 軸屋・大木・横原・服部・小松山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	１人	７人	５人	３人	１６人

前回の改善計画
家族の希望が優先されて、本人の希望を尊重できていないことも多い。できるだけ利用者本人の希望を取り入れた実現可能な利用内容を提示し、家族にも納得していただき、事業所任せではなく、家族もチームの一員として利用者の生活を支えていけるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
地域の資源を活かせていないという意見が多かったが、そもそも地域の資源の把握ができていないし、利用者の自宅近所の状況も職員個人は把握していないことも多いように思う。利用者の状況や家族の状況に合わせて柔軟に対応してきた。小規模多機能ホーム自体も地域の資源の一つであり、地域の施設として開かれた施設となるよう努力はしている。利用者本人はもっと自宅で過ごしたいという思いがあっても、同居の家族が「仕事が休みの日も一緒には居れない」と強く否定されると虐待予防の観点からもレスパイトせざるえない現状もある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？		５	８	７	２０
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	９	１０		１	２０
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	２	１１	６	１	２０
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	５	１２	３		２０

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ニーズに合わせての支援 ・家族や本人のニーズにあわせ、柔軟に対応できている。 ・体調の変化に気付き、共有できている。 ・敬老会等の参加を促し、地域との繋がりを持つ為交流の場への送迎を行っている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域の資源を使って支援しているか把握していない ・家族の希望が優先されている ・本人の変化や状態、ニーズを共有しているが継続できていない・利用者が地域との関連が少ない ・チーム化できていなく、方向性が揃っていない。・本人の希望が尊重されていない ・地域の方々との関わりを持てる様な、利用者個人個人に合った取り組みが難しく、計画できない。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・住み慣れた自宅での生活を少しでも長く継続できるよう、訪問支援のスキルアップを図る。具体的には、訪問時の観察点、個々人の訪問支援内容の整理、自宅で本人のできることの把握、緊急時の対応策など研修を行っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和２年８月 21 日
６．連携・協働	ﾒﾝﾊﾞｰ	小川卓也・小川やよい・中村・上西・池上・濱田 軸屋・大木・横原・服部・小松山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	８人	４人	３人	１５人

前回の改善計画
引き続き、役員が窓口となり地域での活動やイベントに積極的に参加し、地域の方々との関係を築き、事業所全体が地域に開かれた場所にする。

前回の改善計画に対する取組み結果
コロナウイルス感染予防のため、今年度は地域に開かれたイベントなどは中止になっている。コロナウイルスの感染予防のため、事業所内への立ち入りも遠慮して頂いている状況であり、連携や協働は難しい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		４	７	８	１９
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		１	３	１５	１９
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		２	３	１５	２０
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	１	１１	４	３	１９

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・事業所内のイベントに地域の方々を招待したり、地域の子供たちに解放している。
・担会を通じて、他のサービス機関と交流できた
・地域の方が食事を食べに来られる

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・②③…自分の仕事として考えていない
・自分自身は地域の活動に参加していない…役員が参加している

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）

会議には役員が参加しているので知り得た情報を全体ミーティングで伝える。
地域、事業所の行事に関してはコロナ感染対策を意識したうえでの内容を実施する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和２年８月 21 日
７．運営	ﾒﾝﾊﾞｰ	小川卓也・小川やよい・中村・上西・池上・濱田 軸屋・大木・横原・服部・小松山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	２人	９人	４人	１人	１６人

前回の改善計画
日々のケアの中で、介護職や職員からの苦情は状況をしっかり把握し、全体ミーティング等で改善策を検討し、利用者にとって有益な事業運営に活かせるようにする。また、運営推進会議等での意見も参考にしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
新人職員から出た意見を全体ミーティングで検討し、業務改善につなげた。運営推進会議はコロナウイルス感染予防のため書面報告であり、意見を頂くことができていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	２	８	７	３	２０
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	２	１４	３	１	２０
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	１	１０	５	４	２０
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	１	３	１１	５	２０

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・機会がある時は、発言するよう心掛けている ・苦情や相談があった場合は、内容を書面にし全スタッフに共有できている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
安定した事業運営を行うため、登録者数 20 名を目指し、維持できるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和２年８月 21 日
８．質を向上するための取組み	ﾒﾝﾊﾞｰ	小川卓也・小川やよい・中村・上西・池上・濱田 軸屋・大木・横原・服部・小松山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	１人	５人	６人	４人	１６人

前回の改善計画
研修の受講も大切だが、実際の現場で利用者に対しての思いを大事にし、ケアの質を向上させるために利用者一人一人のケースワーク研修を充実させる。

前回の改善計画に対する取組み結果
コロナウイルス感染予防のため、全体研修やミーティングなどみんなで集まることが難しかった。ケースワーク研修もできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	３	９	５	３	２０
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	２	３	９	６	２０
③	地域連絡会に参加していますか		１	１	１８	２０
④	リスクマネジメントに取組んでいますか		８	５	６	１９

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・外部研修で得た知識、技術を施設内研修に取り入れ現場で活かせるようにしている	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・研修に参加しているが、現場に反映できていない ・スキルアップの為の研修にいけていない…今、自分に必要な研修は何かを見つけ出せていない いつでも行けるだろうと思ってしまっている	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
今回のコロナウイルス感染予防の中、みんなで集まっての研修などできない状況下、これまでの研修の在り方を検討する機会になった。リモートでみんなの意見を協議したり、研修できるツールを使っていくことが必要と感じた。そのために、職員全員がそのツールを使えるようにしていく。そのツールを使い、質を向上するための媒体などの提示も行っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和２年８月 21 日
９．人権・プライバシー	ﾒﾝﾊﾞｰ	小川卓也・小川やよい・中村・上西・池上・濱田 軸屋・大木・横原・服部・小松山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	４人	８人	１人	３人	１６人

前回の改善計画
今年度の事業所内研修でも成年後見制度、人権やプライバシー保護の研修を計画している。身体拘束委員会を中心に日々のケアの中で利用者が尊重されるような体制をつくる。

前回の改善計画に対する取組み結果
成年後見制度については、外部講師をお呼びしての施設内研修を行った。身体拘束委員会も定期的に行い、利用者のケアについて、検討することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	１２	8			２０
②	虐待は行われていない	１５	5			２０
③	プライバシーが守られている	6	１３	1		２０
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	4	5	7	１８
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6	１１	1	2	２０

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・身体拘束、虐待はおこなっていない
・ケアの中で身体拘束等をしないように意識して、介助を行うようにしている
・身体拘束委員会を中心に、原則行わないよう取り組んでいる
・ご本人の自尊心を傷つけないよう心掛けて、勤務している
・多動な利用者にも声掛け、寄り添うようにし、プライドを傷つけないよう努めている

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・勤務の都合上、入浴時に同性介助が行えない時もある…同性介助を希望される方もいる
・職員同士の会話の中で、プライバシーが守られていない事がある
・記録物がテーブルに置きっぱなしになっていることがある…意識不足
・「さん」「様」で呼ぶようになっているが、時に「ちゃん」が出ることがある…深く考えず呼んでしまう。

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）

ひき続き、3 ヶ月に 1 回の身体拘束委員会を開き、ケアの検証、検討を行っていく。人権やプライバシーの保護については、接遇と絡めて、特に言葉づかいについて基本に立ち返り、質を向上していきたい。

外部評価　地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

A．事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	5		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	3	1	1
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	1	1	3
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	4		1

【上記４つのチェック項目に関する意見】
※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

・新規利用者に対し、ほとんどの職員が「よくできている」「なんとかできている」と回答「情報」を踏まえ対応している様子が伺えました。
・スタッフの意見が「できている点」「できていない点」できちんと評価されていると思う。

【前回の改善計画に対して意見】
※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見
〇11 月に開催予定の家族忘年会にてアンケートを行う。
・令和元年　11 月にアンケートを実地する。(回答数 15 名)
・アンケートは実地したのか？事業所評価からは分からなかった。

【今回の９つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】
※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

・「できていないこと」の理由が明確になっている。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

・事業所評価の作成がマンネリ化しており、もっとケアに活かせるようなしくみを考え実行する。

B．事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	1	1	3
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	4		1
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	3		2
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	4		1
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていませんか？	2		3

【上記５つのチェック項目に関する意見】

・特になし

【前回の改善計画】
○よいやんせ意思統一事項の中に、来客者に対する対応の仕方や接遇について詳しく記入し、年度はじめの全体ミーティングで周知する。
・コロナの影響で全体ミーティングを開催できなかったので個別面談にて周知をする。

・コロナ対策を行いながら、全体ミーティングや研修をしても良いのでは。コロナは続くものなので、何かしら対策を行いミーティングや研修はした方がよいと思う。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

・アットホームな雰囲気で地域の方々や私たち他事業所職員も立ち寄りやすく感じます。今後も私たちのお手本となる「よいやんせ」さんでいて頂きたいです。

【今回の改善計画】※後日記入

① よいやんせ意思統一事項の周知徹底
② 子供たちがいつでも遊びに来れるように前庭の環境を整える。

C．事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？		1	4
1	職員はあいさつできていますか？	4		1
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	4		1
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	4		1
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	2	1	2

【上記５つのチェック項目に関する意見】

・役員のみではなく事業所のスタッフが地域の活動や行事に参加したほうが、スタッフの地域に対する意識が変わってくるのではないかと思う。

【前回の改善計画】
○駐車場前によいやんせの見取り図を設置する。(来客者が迷わないように)
○地域の行事には積極的に協力する。また、よいやんせでも地域の方々が参加できる行事を継続して開催する。
・見取り図は設置しました。
・行事に関してはコロナの影響で中止になる。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

・私の事業所の近所の方が「明日は小川さんの所」等、おっしゃいます。
　溝辺の誰もがに浸透していると感じます。

【改善計画】※後日記入

・相談しやすい事業所を目指し、出前相談会などを積極的に開催する。

D．地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	1		4
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	1	3	1
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	2		3
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	3		2
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？			5

【上記５つのチェック項目に関する意見】

・コロナ以前は、敬老会等、地域とのつながりがあることが分かった。

【前回の改善計画】
○前回より多くの利用者様が地域の行事に参加ができるようにする。

・コロナの影響で行事が中止になる。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

・コロナで、なかなか対応が難しいと思いますが、本人と地域との絆を保っていって欲しい。

【改善計画】※後日記入

・コロナと共存する意識をもち、行事も感染対策をしっかりとしながら開催していく。

Ｅ．運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3		2
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	5		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	2		3
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	5		
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	5		

【上記５つのチェック項目に関する意見】

・コロナで会議が行えないが、書面で報告されているので、どのような事を行っているか分かる。
・前年度から運営推進会議に参加させていただいています。地域の方、行政などに向けてわかりやすく「開けた事業所」ということが伝わって来ます。とても参考になります。

【前回の改善計画】
○駐在員に委員になって頂き、溝辺地域の問題を一緒に考える。
○事故報告書に対する検討も行う。

・コロナの影響により書面での開催になり駐在員の委員参加は実現できなかった。
・事故報告に関しては書面にて報告をしました。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

・内容がマンネリ化している感がある。

【改善計画】※後日記入

・今のところ書面での報告になりますので、配布をするときになるべく訪問して個別に意見交換をする。

Ｆ．事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			5
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	1	1	3
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	1		4
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？		5	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	3		2

【上記５つのチェック項目に関する意見】

・事業所自己評価に防災の事は触れてないので判断できません。
ただ、H30 年度の運営推進会議の祭に、備蓄品などの話があり、地域の避難所として機能を果たしているという話があったので、地域のシェルターとしての機能を果たすと思います。

【前回の改善計画】
① 連絡網の見直しを行う
② 救命救急講習会を実地する
③ 地域住民を交えた避難訓練を実地する
④ 備蓄品の確認をする
・①、④は実地しました。②、③はコロナの影響により実地しませんでした。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

・今回の台風 10 号で溝辺の事業所間の情報交換も必要だと感じました。

【改善計画】※後日記入

・台風 10 号の影響により停電になり発電機の必要性を実感しました。
導入を検討する。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」　総括表

法人名	株式会社 ネバーランド	代表者	小川　卓也
事業所名	小規模多機能ホーム よいやんせ	管理者	小川　卓也

法人・事業所の特徴	①暮らしに必要な「農」の空間が広がり、無農薬の野菜や米、卵を自給自足しており、安心安全でおいしい食の提供を目指している。 ②その人らしい暮らし方を家族、主治医、地域の方等と共に支え、最後までその地域で暮らせる支援を目指す。 ③地域の店舗への出荷、老人クラブや子ども会との交流、地域のひろば事業などの展開で地域に開かれ、地域の方に親しみやすい事業所を目指している。

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援ｾﾝﾀｰ	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	１人	人	２人	人	人	１人	１人	３人	人	８人

項　　目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A．事業所自己評価の確認	・11 月に開催予定の家族忘年会にてアンケートを行う。	・令和元年　11 月にアンケートを実地する。(回答数 15 名)	・新規利用者に対し、ほとんどの職員が「よくできている」「なんとかできている」と回答 「情報」を踏まえ対応している様子が伺えました。 ・スタッフの意見が「できている点」「できていない点」できちんと評価されていると思う。 ・「できていないこと」の理由が明確になっている。	・事業所評価の作成がマンネリ化しており、もっとケアに活かせるようなしくみを考え実行する。
B．事業所のしつらえ・環境	・よいやんせ意思統一事項の中に、来客者に対する対応の仕方や接遇について詳しく記入し、年度はじめの全体ミーティングで周知する。	・コロナの影響で全体ミーティングを開催できなかったので個別面談にて周知をする。	・コロナ対策を行いながら、全体ミーティングや研修をしても良いのでは。コロナは続くものなので、何かしら対策を行いミーティングや研修はした方がよいと思う。 ・アットホームな雰囲気で地域の方々や私たち他事業所職員も立ち寄りやすく感じます。今後も私たちのお手本となる「よいやんせ」さんでいて頂きたいです。	・よいやんせ意思統一事項の周知徹底 ・子供たちがいつでも遊びに来れるように前庭の環境を整える。
C．事業所と地域のかかわり	・駐車場前によいやんせの見取り図を設置する。(来客者が迷わないように) ・地域の行事には積極的に協力する。また、よいやんせでも地域の方々が参加できる行事を継続して開催する。	・見取り図は設置しました。 ・行事に関してはコロナの影響で中止になる。	・役員のみではなく事業所のスタッフが地域の活動や行事に参加したほうが、スタッフの地域に対する意識が変わってくるのではないかと思う。	・相談しやすい事業所を目指し、出前相談会などを積極的に開催する。

			・私の事業所の近所の方が「明日は小川さんの所」等、おっしゃいます。 　溝辺の誰もがに浸透していると感じます。	
D．地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・前回より多くの利用者様が地域の行事に参加ができるようにする。	・コロナの影響で行事が中止になる。	・コロナ以前は、敬老会等、地域とのつながりがあることが分かった。 ・コロナで、なかなか対応が難しいと思いますが、本人と地域との絆を保っていって欲しい。	・コロナと共存する意識をもち、行事も感染対策をしっかりとしながら開催していく。
E．運営推進会議を活かした取組み	・駐在員に委員になって頂き、溝辺地域の問題を一緒に考える。 ・事故報告書に対する検討も行う。	・コロナの影響により書面での開催になり駐在員の委員参加は実現できなかった。 ・事故報告に関しては書面にて報告をしました。	・コロナで会議が行えないが、書面で報告されているので、どのような事を行っているか分かる。 ・前年度から運営推進会議に参加させていただいています。地域の方、行政などに向けてわかりやすく「開けた事業所」ということが伝わって来ます。とても参考になります。 ・内容がマンネリ化している感がある。	・今のところ書面での報告になりますので、配布をするときになるべく訪問して個別に意見交換をする。
F．事業所の防災・災害対策	① 連絡網の見直しを行う ② 救命救急講習会を実地する ③ 地域住民を交えた避難訓練を実地する ④ 備蓄品の確認をする	・①、④は実地しました。②、③はコロナの影響により実地しませんでした。	・事業所自己評価に防災の事は触れてないので判断できません。 ただ、H30 年度の運営推進会議の祭に、備蓄品などの話があり、地域の避難所として機能を果たしているという話があったので、地域のシェルターとしての機能を果たすと思います。 ・今回の台風 10 号で溝辺の事業所間の情報交換も必要だと感じました。	・台風 10 号の影響により停電になり発電機の必要性を実感しました。 　導入を検討する。